

核兵器廃絶求める「土浦地域連絡会」 7団体で結成

＝第一次統一行動・24人土浦駅頭に立つ＝



2010年5月の国連軍縮会議にむけて、10月10日に結成された核兵器廃絶1200万署名を進める土浦地域連絡会の最初の統一行動は10月6日に予定されていましたが、雨で中止になったため24日行なわれました。

この日土浦駅ペデストリアンデッキに集まったのは、土浦平和

の会、阿見平和の会、新婦人土浦、土浦革新懇、年金者組合土浦、保健生協土浦、土浦地域労連の7団体24人でした。ハンドマイクの訴えやポスター、それぞれののぼり旗、腕章、署名用紙をもって約1時間半通行者に署名を訴えました。

ヒロシマ、ナガサキの被爆や北朝鮮の核開発のこと、オバマ米大統領のプラハ演説や平和市長会議の訴え、先日広島で開かれた「核不拡散・核軍縮に関する国際委員会（国際賢人会議）」の提言案などそれぞれの思いをこめた訴えに応えた署名数は各団体の合計で246筆でした。

午後の事務局会議では連絡会の統一行動と各団体、個人の署名を合わせて人口の1割（13,000筆）を目標に取り組むこと、毎月1回統一行動を行なうこと、駅頭、店舗前、団地などで行動することなどを話し合いました。

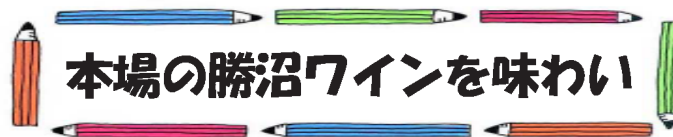
とりあえず11月は23日（勤労感謝の日）荒川沖駅東口で11時から行なうこと。12月は23日（天皇誕生日）コープ土浦店で11時から行なうことを決めました。雨天の場合は次の土曜日です。ぜひ都合のつく方をご参加ください。

＜米軍横田基地視察ツアー＞

美和・緒川平和の会、 独自でマイクロバス

「沖縄普天間基地移転が決まって10年以上たっているのにどうなっているんだ。民主党の選挙公約は実現するのか。沖縄県民の苦しみをもっと我々も知ろうじゃないか。」こんな話し合いの中から10月25日の役員会で、「よし、米軍横田基地に行つて嘉手納基地や日米安保の本質・基地問題を学んでこよう」と企画しました。県北のみなさんで是非参加したいと希望の方は、美和・緒川平和の会 堀江さんまで。TEL 0295-58-2718

「米軍機くるな実行委員会」ではマイクロバスを2台出す手配しております。各平和委員会でも美和・緒川に励まされて一人でも多くの参加者を募って下さい。



本場の勝沼ワインを味わい

財政のご支援を今年もお願いします

2009年産のブドウで醸造された「09ヌーボー」はすでにみなさんから慕われて15年以上になります。醸造元の勝沼醸造は甲州盆地の数あるワインメーカーの中で一番の老舗で、農民連とも提携しており、人気と信頼を得ております。苦しい県財政の一助のためご協力をお願いします。

- 09年甲州ヌーボー白(辛口)と赤の2種類
- お値段は、1本1500円(小売店価格)を1400円でいつもどおりでお願いします。地元還元は100円です。
- 締め切りは11月末。配達は12月10日前後となります。
- 昨年並み以上お願いできれば幸甚に存じます。



核兵器廃絶に向けてのチラシが出来ました。ぜひ、ご活用下さい。

＜オモテ面＞ オバマの核廃絶演説と我々の要求

オバマ大統領の核廃絶実現に向けての決意に対して世界が歓迎している事。これまでの「核おどし戦略」と天と地のちがいで核兵器のない世界の入り口に立ったこと。反面、具体的には核保有国が「みずから先に核兵器を使わない」事を約束するためにアメリカはその先頭に立つ事。また、低開発国で起こっている紛争は先進国の武器で殺しあっている。武器輸出禁止の国際協定にアメリカの役割が重大であることをアピールしました。

＜ウラ面＞ 憲法9条を前面におしだしました。

核兵器廃絶で戦争を放棄した9条、核兵器を「持たず、作らず、持ち込ませず」の非核三原則、武器輸出を禁止した「武器輸出三原則」を国是と、そして唯一の被爆国日本は核兵器廃絶を世界の国の何処よりもアピール出来ることを強調しました。そして、その役割を果たすためにも「核密約・核疑惑」をもたれるようでは世界の人々から信頼されないとし、すべての資料を公開すること、また、アメリカの核に依存しているいまの政治を大きく転換しなければならない事を訴えました。

*各平和委員会でも新聞に折り込んだり、地域でご活用ください。版下などお送りしますのでご一報ください。

平和かわら版

No. 547

平和新聞茨城版

2009.11.5

発行：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahei@amber.plala.or.jp



父の戦死は 自分の仕事と生き方そのもの

守谷平和の会 丸町 芳夫

私の父は、私が生まれる8ヶ月前に戦地のパラオに軍属として応召されました。父は、函館で船大工をしていました。軍艦には必ず船大工を置くことになっていて、その関係で40歳を過ぎて軍属として召集された訳です。私はその年の11月に生まれました。

そして、20年6月23日パラオ島で激戦の末、部隊は山奥に逃げ込んで、食糧不足で餓死しました。終戦まで後2ヶ月弱のことです。

乳飲み子の私と3人の姉と祖母は、22年まで帰還を千秋の思いで待っていたということです。22年に戦友が尋ねてくれて、戦死した時の様子と現地の状況を詳しく報告してくれたことで、戦死したことを知ることが出来たということです。戦友が言うことには、激戦ということもあったが、それよりも本土からの輸送ができなくなり、食料が全くなくなり一人一日三枚の芋の葉っぱだけが支給されるひどい状況だったということです。

にもかかわらず、戦友は何故生き延びて帰ることが出来たかと聞いた家族に対して、「私は、将校の食料係をしていて、食料には困らなかったの、生き延びることが出来た」「将校は現地に妾を置き、その家の畳の下に食料を隠していた。あまりの食糧不足の中でも食料にありついていた将校に下級兵士がその家を襲い、食料を発見された」ということがわかったということです。その将校も、帰還していることもわかりました。ほとんどの下級兵隊は、餓死ということで戦死させられました。

その後、その将校は自衛隊の幹部となっていたということです。

私は、その話を祖母から小学校3年生ごろ聞きました。「どうして他の家のように、僕の家には父がいないのか」ということに疑問に答えてくれたのだと思います。母も祖母も一番目と二番目の姉も必死に働いて、稼ぎ手の男のいない我が家を養ってきました。男の子の顔も知らないで父、父の匂いも知らない私。その頃から、姉も教師をしていたということもありましたが、「教師になって自分のような子供をつくらないようにしたい」と思うようになってきました。

家族の誰のせいでも無しに父が居なくなった家、国によって勝手に父を殺された家、戦地では人を人とも思えなくなる軍隊の姿、死んだものだけでなく周りにも多くの被害者がいること、

…どれをとっても戦争の正当性はないことを歳をとるにしたがって学んできました。

私は、60歳半ばまで「戦争を起こしてきた勢力」「戦争を起こそうと躍起になっている勢力」「戦争を起こして儲けようという勢力」を許すことは出来ませんでした。そういう勢力は、彼らの欲望、彼はもちろんのことその家族を守ることに必死で自らを危険な立場に置くことはありません。だから、そういう人たちはかつての戦争に対して何の反省もなく、今でも未だ「核兵器武装」「防衛力増強」「先制攻撃」「憲法九条改憲」「国連承認で海外派遣」等と唱えています。

今年の1月に心筋梗塞で三途の川まで行ってきましたが、途中から引き返してきました。まだ、私は死んではいけない。教え子と我が家の家族とすべての若い人たちが、戦争で命を奪われることの無い世の中になるまで、身体を動かす運動で体を鍛え、社会を動かす運動で仲間を増やしていきたいと思っています。



日本平和大会パンフ 『いまこそCHANGE日米安保』で学習を！

日本平和大会が12月11日から13日に神奈川で開催されます。各平和委員会でも仲間を誘って参加くださるようお願いいたします。さて、その大会にむけての学習パンフが大会実行委員会から出されました。

内容は、核問題から基地、憲法・安保・軍縮・自衛隊海外派兵・くらしと多彩です。

見開きがひとつのテーマとなっており、図や表をたくさん使って見やすく・読みやすくなっています。現在の状況を理解する上で格好のテキストです。多くの人に読んでいただき平和の力を養ってください。

B版・24ページ 定価1部・250円ですが平和委員会扱いは1部・150円です。

※各平和委員会の注文数を
11月20日までにお知らせ下さい。



澤地久枝講演会に取り組んで

石岡平和の会 石岡地域憲法九条の会 山口 由夫

全県の平和の力で成功する！

石岡地域憲法九条の会は、2006年8月26日に結成され、この間、活動が取り組めない現状でした。3周年を記念して大きな事業をやろうということになり、幸い石岡に澤地さんの知人がおり、お願いして実現となった。

1000人集めることが目標 取り組むことで石岡地域に平和の力をつくらうが目的。

3月6日に役員会を開き計画、憲法九条の会を前面に出して取り組むことを確認、活動を広げるため、実行委員会を組織することとし、5月10日に第1回の実行委員会を開催した。

石岡地域で500名を組織することを確認、県内の九条の会や民主団体にも呼びかけることも確認。毎月第1日曜日に実行委員会を開催してきました。（7回の実行委員会と3回の事務局会議）しかしながら、この間に総選挙があるある、ないないで本格的に取り組むことが出来ないで月が替わってきてしまった。

8月段階で、300名そこその組織 このままでは、大変な結果になる。この局面を一気に打開することを確認した。

1人1人が、配券協力者を組織すること、県内の平和団体をお願いをする。（無理なお願いをしました）。

講演会開催日の1週間前の実行委員会で700名余の組織が出来たことが確認でき、一同ホッとしました。

宣伝行動は、県内30の地域九条の会や平和委員会に案内とチケットの配布、市内の団体へのお願い、各新聞社への催事掲載のお願い、石岡、玉里地域への新聞折込、ポスターの掲示、宣伝カーで石岡市内の宣伝など。

この宣伝で、特に新聞掲載は反響がありました。また、石岡市と石岡市教育委員会の後援をもらったのも良かった。

アンケートも175件寄せられました。何れも、大変感動した、もっと活動しなければとの感想。参加者も県内各地から、さらには、県外からも参加がありました。60歳代が1番多かった。できればもっと若い人にも来てもらいたかった。

幸い、皆様のご協力で成功できました。感謝申し上げます。ありがとうございました。

